東北６県と整備局が創る
河川・ダム・砂防・海岸事業の新たな連携

「個性の大地」

創刊号（平成１３年２月）
東北地方整備局河川部
地域河川課　発行

１.「地域連携誌・個性の大地」創刊にあたって

東北地方整備局
地域河川調整官　　渥美　雅裕

平成１３年１月６日、中央省庁再編により国土交通省東北地方整備局が誕生しました。担当する建設産業行政、都市・住宅行政、河川行政、道路行政などを通して、東北地方の総合的な国土整備にしっかりと役割を果たして行きたいと考えています。よろしくお願い致します。

またご承知のとおり、整備局には直轄事業の推進に加え、従来東京で行っていた補助事業に係る事務を整備局で担当することになりました。このため、整備局河川部でも直轄事業に加え、新たに河川、ダム、海岸、砂防などの補助事業に関する予算業務や技術業務が加わりましたので、担当する組織として『地域河川課』が新設されました。課長を含め６名の小世帯ですが、一日も早く各県、地域の皆さんの期待に応えられ信頼されるよう、張り切って業務に取り組んでおります。

さて、戦後の半世紀はまさに繰り返し発生する災害への対応の歴史と言っても過言ではありません。その結果確実に治水安全度は向上して参りましたが、近年でも平成１０年の阿武隈川水系の大水害や平成１１年の岩手県北の豪雨災害などは記憶に新しいところであり、今後も着実に治水施設、砂防施設等の整備が不可欠となっています。また一方では、我が国の経済情勢を背景として、より効果的、効率的な河川整備が求められております。そのためには、直轄、補助と言った事業制度の視点で整備するのではなく、水系一環整備の視点に立ち骨格河川と地域河川をそれぞれバランス良く整備していくことが非常に重要です。さらに近年、地域の自然・文化・歴史と言った個性を活かした河川、砂防、海岸等の整備が大変強く要請されております。特に暮らしに最も身近な地域河川への期待が大きいのではないでしょうか。このように多様な要請に的確に応えられるよう、地域河川を整備される各県の皆さんの良きパートナーとして『地域河川課』が役割を果たせるよう努力して参ります。

さて、今回創刊する「地域連携誌・個性の大地」は各県の皆さんと私ども整備局の補助事業担当者との情報共有を目的としたものです。今後各県のみなさんのご協力を頂きながら内容の充実した連携誌に育てていきたいと考えておりますので、地域の話題、技術紹介等の情報提供について積極的に協力して頂くようお願い致します。

最後になりますが、本連携誌が地域河川等の整備、ひいては個性豊かな東北の発展に寄与することを祈念し創刊にあたってのご挨拶と致します。

２．東北地方整備局河川部の補助事業業務の体制

①組織

補助事業について業務が多岐に渡っているため河川部として業務分担を行うこととしています。業務の分担は次のようになっています。部内の調整は地域河川課で行いますので気軽に連絡をいただきたいと思います。

河川部内の業務分担（補助事業）

- 水　政　課 ― 河川事業等に関する補助金等の交付決定等
- 河川計画課 ― １級水系指定区間、２級水系の基本方針並びに整備計画の認可、同意
- 河川調整課 ― １級水系指定区間、２級水系の基本方針並びに整備計画の認可、同意
- 河川調整課 ― 水道原水推進保全法関係業務
- 河川管理課 ― 水防関係業務、補助ダムの出水、地震対応、操作規則、管理設備、試験湛水対応
- 河川工事課 ― 補助ダムの積算協議
- 地域河川課 ― 河川、都市河川、海岸、ダム、砂防、急傾斜、地すべり、雪崩補助予算関係

②地域河川課のスタッフ

わたしたちが担当します

三浦地域河川課長

- 坂本課長補佐 ― 槙田計画係長、吉田技官
- 坂本課長補佐 ― 水越整備係長、岩田技官

業務の区分は次のようになっています。

計画係：河川･都市河川・海岸事業の補助予算関係を担当します。

整備係：ダム･砂防・地すべり対策・急傾斜地崩壊対策・雪崩対策事業の補助予算関係を担当します。

座席は右の図のようになっています。地域河川課へ来た際の参考にしてください。東北６県の皆さんが気軽に来られる地域河川課を目指します。

座　席　表

三浦課長 3811		坂本補佐 3812	
計画係	槙田 係長 3821	水越 係長 3826	整備係
	吉田 技官 3822	岩田 技官 3827	

（FAX 3809）

連絡先

ＴＥＬ　０２２－２２５－２１７１(大代表)

０２２－２２５－２０２４(直通)

ＦＡＸ　０２２－２８２－６６９０

緊急（災害）時の連絡先

河川・海岸関係

--槙田計画係長　090-7938-3191（携帯）

ダム、砂防、急傾斜地、地すべり、雪崩関係

--水越整備係長　090-8784-2511（携帯）

メールアドレス

三浦課長	miura-k82ae@thr.mlit.go.jp
坂本課長補佐	sakamoto-r82ac@thr.mlit.go.jp
槙田計画係長	makita-m82ac@thr.mlit.go.jp
水越整備係長	mizukoshi-t82ac@thr.mlit.go.jp
吉田技官	yoshida-a82ac@thr.mlit.go.jp
岩田技官	iwata-t82ac@thr.mlit.go.jp

3．各県河川課長と整備局地域河川課長の声

青森県河川課長



鈴木英生

地方整備局に期待すること

本県は、福祉日本一をめざし、県政に取り組んでいるところであるが、我々の担当する治水事業は、まさしく福祉行政の原点と位置づけられます。しかしながら本県の河川整備状況は東北で最も低く、また、近年本県においても都市型の洪水被害が頻発していることから、積極的にその施策に取り組んで参りたい。

今回の省庁再編により東北地方整備局が発足し、国との関係が極めて緊密になったことから、今まで以上に本県の実状を御理解いただき、各種事業に反映されることを期待しております。

岩手県河川課長



橋本義春

「夢県土いわて」の実現に向けて更なる支援を期待

東北地方整備局の誕生、おめでとうございます。本県では、みんなで創る「夢県土いわて」の実現に向けて取り組んでいるところであります。この中で、川が本来有している「治水・利水・環境」の役割を併せ持つ川づくりを進めるとともに、津波対策等に併せ自然と共生する海岸保全と整備を進めているところであり、今後とも、より地域に密着した御指導、御支援を頂きますようお願いいたします。

宮城県河川課長



和泉恵之

東北地方整備局発足に当たって

地域の実情に応じた河川整備、直轄事業と補助事業のより一層の連携、広域的な防災・危機管理対策の推進など「真に豊かで安心とゆとりの県土づくり」の力強いパートナーとして、また、地域全体が一体となり、大きなポテンシャルを有するこの東北地方の特徴ある地域づくりを推進するための力強いリーダーとして期待しています。

秋田県河川課長



藤原義典

東北地方整備局への業務移行に伴う要望について

・各事業のヒアリングや打ち合わせにおいて、県の意向が本省に伝達され行き違いが生じないよう、要望、意見を充分傾聴してほしい。
・河川整備計画等打ち合わせにおいて、関係各課に調整いただき一同に会して会議を進めてほしい。
・地方の市町村や住民との関係が密接となることから、直接整備局へ要望があると思われるので、県と連携を取りながら対処してほしい。
・一部本省事務扱いとなっている部門について、担当が整備局経由本省という業務とならないよう、早期に整備局扱いとしてほしい。
・直轄負担金の額や事業の内容について、県の予算編成前に提示してほしい。

山形県河川課長



安孫子泰雄

東北地方整備局に対する期待・要望について

山形県の河川は、「母なる川・最上川」を中心に流域が形成されており、本県のシンボルラインとしての清流化を県民あげて推進しているところです。

地方整備局への事務委譲により、今後は、一層国と地方公共団体とが一丸となって河川行政に取り組める環境が整い、これまで以上に密接な情報交換、事業調整が出来るものと大いに期待しています。

これからも県民のために「安全で環境に配慮した川づくり」をしてまいりますので、引き続きご指導をお願い致します。

福島県河川課長



蛭田公雄

東北地方整備局との連携に期待

新年度からの県の長期総合計画「うつくしま２１」の基本目標であります「地球時代にはばたくネットワーク社会～ともにつくる美しいふくしま」の実現の為にも、治水対策は喫緊の課題であります。

本県の状況をよく知る東北地方整備局とは、より一層の連携を図り、目標の実現に協力をお願いしたいと考えております。

東北地方整備局
地域河川課長



三浦清志

信頼される整備局を目指して

東北各県の関係者の皆さん、こんにちは。２１世紀の幕開けと共になされた省庁再編により初代の地域河川課長を命じられた事は光栄な事であると同時に、責任の重さも感じている所です。今まで本省と各県間で行われていた業務を地方整備局で担当することとなった訳ですが、まずは皆様方との信頼関係の構築が何よりも優ると考えております。気軽に何でも相談してください。魅力を秘めた東北地方の発展のため共に頑張りましょう。

４．当面の予定

日　時	行　　事	場　　所
２／　１（木）	河川事業ヒアリング （東北６県）	砂防会館
２／１３（火）	河川総合開発事業ヒアリング （秋田県、宮城県）	
２／１４（水）	河川総合開発事業ヒアリング （山形県、福島県）	
２／１５（木）	河川総合開発事業ヒアリング （青森県、岩手県）	

編集後記

「個性の大地」とは東北６県と整備局の連携により、東北の各地域が持つ豊かな自然や地域固有の文化などを活かし河川・ダム・砂防・海岸事業等を進めることにより、２１世紀における個性ある暮らしを育む東北の大地を実現しようという思いが込められています。

地域の話題、技術紹介等の積極的な情報提供をお待ちしています。投稿などを随時受け付けますので是非御一報ください。東北６県と整備局担当者が育てる地域連携誌「個性の大地」を末永く御愛顧願います。

本誌に関して御意見、問い合わせがございましたら　地域河川課　までお願いします。
発行　国土交通省 東北地方整備局 河川部 地域河川課
〒980-8602　仙台市青葉区二日町９番１５号　TEL022-225-2171(大代表)、225-2024(直通)　FAX022-282-6690

※次回は各県砂防・ダム事業担当課長からの声を頂きたいと考えています。



